

令和3年12月3日
防衛省

インフラメンテナンスの優れた取組や技術開発を表彰！ ～第5回「インフラメンテナンズ大賞」受賞者を決定～

防衛省では、国土交通省、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省とともに、社会資本のメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰する「第5回インフラメンテナンズ大賞」を公募していましたが、この度、同賞の受賞者が決定しました。

1. 「インフラメンテナンズ大賞」とは

インフラメンテナンズ大賞は、日本国内における社会資本のメンテナンス（以下「インフラメンテナンズ」という。）に係る優れた取組や技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンズに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンズの理念の普及を図ることを目的として実施するものです。

2. 応募状況及び審査結果

第5回目となる今回は、令和3年3月15日から同年6月18日まで募集したところ、247件の応募がありました。有識者による選考委員会（委員長：三木 千壽 東京都市大学学長）の審査を経て、以下の自衛隊施設分野における優秀賞を含む計33件（別紙）の受賞者が決定しました。

表彰の種類	部門	分野	応募者 (代表企業・団体)	応募案件名
優秀賞	技術開発 部門	自衛隊 施設	日本原料 株式会社	可搬型浄水装置による 新しい水道のかたち

3. 今後の予定について

令和4年1月21日（金）に各賞の表彰式を各省合同で開催する予定です。

4. 参考

令和2年7月1日より、防衛施設建設工事等における入札制度において、インフラメンテナンズ大賞（防衛省案件）の受賞に関しては、優秀工事等顕彰等の実績として評価されることとなりました。

防衛省案件

優秀賞

応募部門	ウ 技術開発部門	 <p data-bbox="1102 757 1417 786">『新しい水道のかたち』ご提案資料</p>
案件名	可搬型浄水装置による新しい水道のかたち	
代表団体名	日本原料株式会社	
(概要)	<p>汚れたろ過材は産業廃棄物として処分するという水処理の常識を覆す「シフォン洗浄技術」を生み出し、その技術を組み込んだ定置型浄水装置「シフォンタンク」を開発。さらに、配管や薬品注入装置、制御盤等を全てユニット化し、車両に載せて移動できる可搬型浄水装置『モバイルシフォンタンク』を開発したことにより、浄水施設の運転に不可欠な“ろ過材交換”というメンテナンス作業を不要にするだけでなく、災害時の応急給水活動をはじめ、全国の中小規模水道事業者が抱える課題の解決に取り組んでいます。</p>	